

経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県 北山村

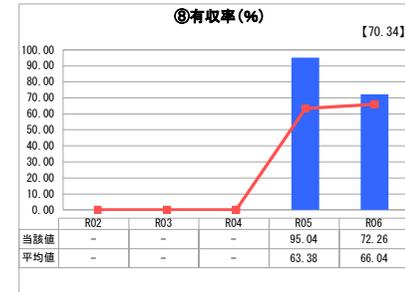
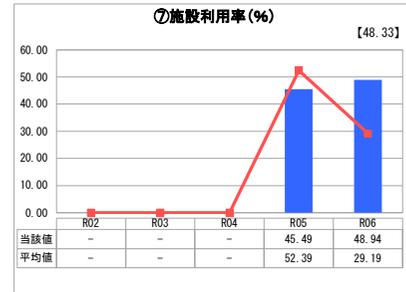
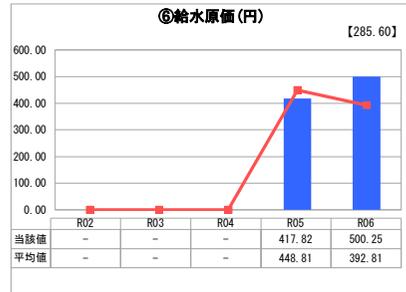
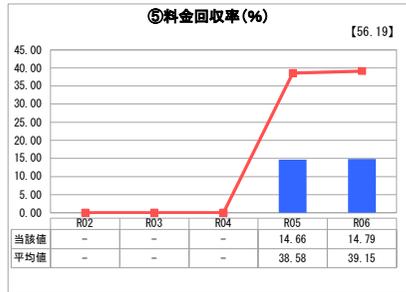
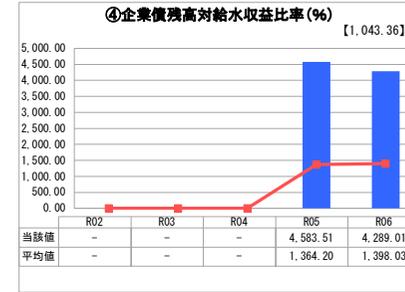
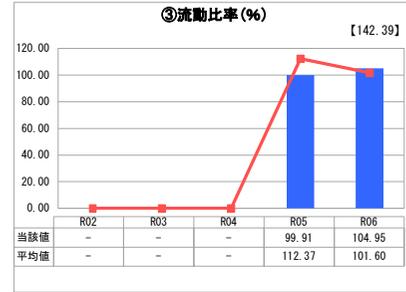
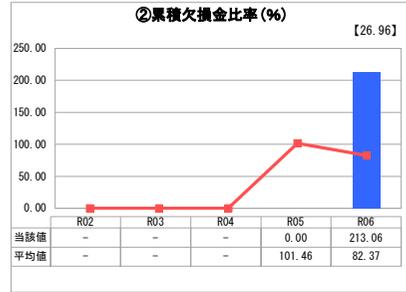
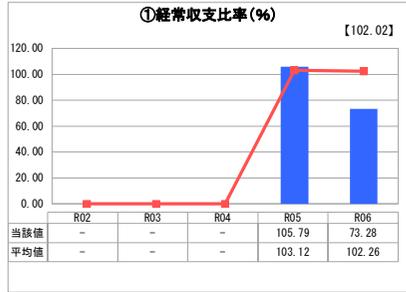
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C4	自治体職員
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)	
-	65.98	99.74	1,700	

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
382	48.20	7.93
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
380	48.20	7.88

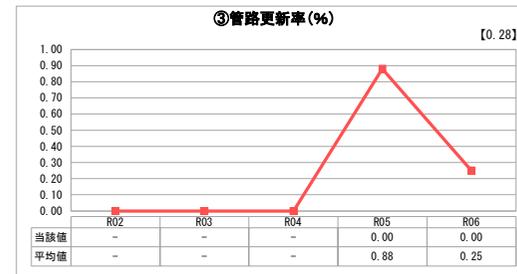
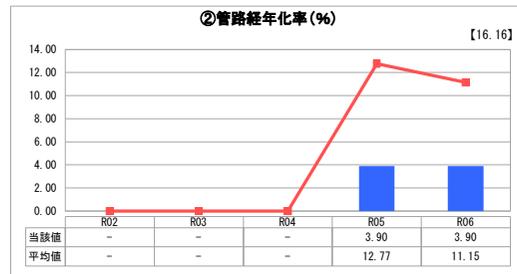
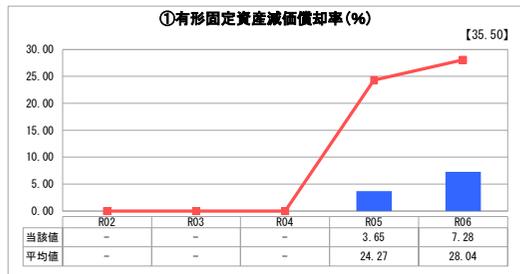
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
他会計補助金の減少の影響を受け、総収益が減少したため、平均値を下回る数値となりました。

② 累積欠損金比率
当該年度より累積欠損金が発生したため、このような数値となりました。
平均値を大きく上回った要因としては、給水収益もわずかになく他会計補助金も減少したことにより収益が費用を上回ることができなかったためです。

③ 流動比率
100%をわずかに上ることができました。一般会計現金及び預金が前年度より増加したことによるものです。

④ 企業債残高対給水収益比率
当村は人口が少なく給水収益がわずかなためこのような数値になっています。

⑤ 料金回収率
改善には大幅な経費削減や料金の引き上げが必要です。

⑥ 給水原価
平均値を上回っており経費削減に努めています。

⑦ 施設利用率
前年度と比較し数値は微増していますが、人口減少の影響により当該値は年々減少していく見込みです。
今後、施設の建て替え等を検討する場合はダウンサイジングも必要になると考えられます。

⑧ 有収率
前年度と比較し漏水の報告件数が増加したことで当該年度の数値は減少しておりますが、平均値をわずかに上回る数値となっています。

2. 老朽化の状況について

平成23年から耐震管を用いた配水本管再整備を行っており、令和3年度ですべて完了しました。
また、遠隔監視装置を導入しており、効率的な施設管理が行える設備を取り入れております。
今後は導水管や各浄水場施設の耐震化などの整備が必要となっています。

全体総括

山間部の小規模な簡易水道事業で近年の高齢化や給水人口の減少に伴い、事業を運営していくための料金収入の確保が難しく一般会計からの財政援助がなければ運営が厳しい状況です。
また、物価高騰による影響で営業費用も増加傾向にあるため、財源の確保には非常に苦慮しています。